

恵那市耐震化緊急促進アクションプログラム 2025

1. 目標

恵那市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般市民への周知・普及等を図ることが重要である。

恵那市耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2. 位置付け

本アクションプログラムは、恵那市耐震改修促進計画「第4 建築物の耐震化を促進する施策」に基づき策定する。

3. 取組計画期間

本アクションプログラムの取組計画期間は、恵那市耐震改修計画の計画期間と合わせ令和7年度から令和12年度までとする。なお、これまで計画的に実施していると戸別訪問による耐震化啓発の取組については、本アクションプログラムの取組計画期間終了後においても実施する。

取組計画期間：令和7年4月～令和12年3月（6年間）

4 恵那市耐震化緊急促進アクションプログラム2025 取組内容・目標・実績

計 画	令和 7 年度（2025）取組内容	令和 7 年度（2025）目標																																																																																									
	【財政的支援】 i）木造住宅の無料耐震診断を実施 ii）木造住宅の耐震改修工事に要する費用の一部補助を実施 iii）木造住宅の除却工事に要する費用の一部補助を実施 【普及啓発等】 i）住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 ・戸別訪問 令和 7 年度は、長島町中野を中心に、約150戸別訪問を実施。 ii）耐震診断実施者に対する耐震促進 ・耐震診断結果報告時に、耐震改修工事の概算算出 ・耐震改修の補助制度の概要を説明 iii）改修事業者の技術力向上 ・改修事業者の技術力向上を目的とした講習会を実施 iv）一般への周知普及 ・市広報誌等による耐震化補助制度の周知 ・耐震化補助制度の概要をまとめたチラシの作成・配布	・木造住宅の耐震診断戸数：30戸 ・木造住宅の耐震改修工事補助戸数： 6 戸 ・木造住宅の除却工事補助： 3 戸 前年度までの実績 ・木造住宅の耐震診断戸数（H14～R 6）：544戸 ・木造住宅の耐震改修戸数（H16～R 6）：52戸 <table><tr><td></td><td>H14</td><td>H15</td><td>H16</td><td>H17</td><td>H18</td><td>H19</td><td>H20</td><td>H21</td><td>H22</td></tr><tr><td>耐震診断</td><td>4</td><td>10</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>7</td><td>40</td><td>60</td><td>41</td></tr><tr><td>耐震改修補助事業</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>3</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td></tr><tr><td>耐震診断</td><td>44</td><td>48</td><td>31</td><td>34</td><td>16</td><td>48</td><td>19</td><td>10</td><td>17</td></tr><tr><td>耐震改修補助事業</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>6</td><td>4</td><td>7</td><td>5</td><td>4</td></tr><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td colspan="2">合計</td><td></td><td></td></tr><tr><td>耐震診断</td><td>7</td><td>12</td><td>18</td><td>14</td><td>40</td><td colspan="2">544</td><td></td><td></td></tr><tr><td>耐震改修補助事業</td><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td><td colspan="2">52</td><td></td><td></td></tr></table>		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	耐震診断	4	10	7	8	9	7	40	60	41	耐震改修補助事業	—	—	1	3	0	1	0	1	3		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	耐震診断	44	48	31	34	16	48	19	10	17	耐震改修補助事業	3	1	1	1	6	4	7	5	4		R2	R3	R4	R5	R6	合計				耐震診断	7	12	18	14	40	544				耐震改修補助事業	4	1	0	0	6	52		
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22																																																																																		
耐震診断	4	10	7	8	9	7	40	60	41																																																																																		
耐震改修補助事業	—	—	1	3	0	1	0	1	3																																																																																		
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																																																		
耐震診断	44	48	31	34	16	48	19	10	17																																																																																		
耐震改修補助事業	3	1	1	1	6	4	7	5	4																																																																																		
	R2	R3	R4	R5	R6	合計																																																																																					
耐震診断	7	12	18	14	40	544																																																																																					
耐震改修補助事業	4	1	0	0	6	52																																																																																					
自 己 評 価	前年度（令和 6 年度）の取組実績	前年度（令和 6 年度）の課題																																																																																									
	・戸別訪問による耐震化啓発を実施（114戸） ・市広報誌、ホームページで耐震化補強制度を案内 ・チラシを作成し、戸別訪問及びイベント時に配布 ・耐震相談会を開催し、耐震化について周知を行った。 ・固定資産納税通知書に耐震化補助制度のチラシを同封 ・恵那市住宅耐震化促進検討委員会を設置し、耐震化率向上に係る施策の検討を行った。	・耐震化促進に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る。 ・高齢者の単身世帯の増加により、住宅の将来が見通せず、耐震化に躊躇する事例がある。 ・延べ床面積大きい住宅が多く、耐震改修の費用が高額になる。 改善策 ・戸別訪問や各種イベントにおけるブースの出展などにより、引き続き耐震化補助制度のPRをする。 ・補助制度の拡充や、安価な耐震化工法の周知を行い、耐震改修を行いやすい環境を整備する。																																																																																									